



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 パーチャレクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6193 URL <https://www.vx-holdings.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 栄樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理管理本部長 (氏名) 黒田 勝 TEL 03-3578-5300  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無 有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,242	8.1	251	45.7	258	28.8	185	25.0
2022年3月期第2四半期	2,999	16.0	172	—	200	—	148	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 141百万円 (△60.8%) 2022年3月期第2四半期 360百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	63.52	62.81
2022年3月期第2四半期	51.42	51.14

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,082	1,305	40.3
2022年3月期	2,853	1,146	39.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,291百万円 2022年3月期 1,136百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	4.4	572	10.0	572	5.2	380	4.4	131.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	2,989,753株	2022年3月期	2,963,053株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	64,729株	2022年3月期	64,729株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	2,898,324株	2022年3月期2Q	2,879,795株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の縮小と政府の行動制限の緩和に伴い、景気の持ち直しの動きも出てまいりましたが、世界的な半導体不足、エネルギー価格高騰、物流の混乱等の影響により先行き不透明な状況で推移いたしました。海外経済におきましても、中国における経済活動の抑制、ウクライナ情勢の長期化の懸念や、急速に進行した円安の影響等もあり、今後も先行き不透明な状況で推移するものと思われまます。

このような状況の下、当社グループはテクノロジーを基盤として、バーチャレクス・コンサルティングはCRMをビジネスのドメインに、タイムインターメディアはWeb、文教・教育、AIなどをビジネスのフィールドとして、当社グループの持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,242,676千円（前年同四半期8.1%増）、営業利益251,710千円（前年同四半期45.7%増）、経常利益258,234千円（前年同四半期28.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益185,213千円（前年同四半期25.0%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

IT&コンサルティング事業は、前年同期より堅調に推移しており、大型コンサル案件など新規受注も順調に拡大推移していることなどから前年同期比で増収となりました。利益面でも売上増の要因に加えプロジェクト利益率の向上により、前年同期比で大幅に改善しました。その結果、売上高は1,917,853千円（前年同四半期11.3%増）、セグメント利益は379,382千円（前年同四半期23.1%増）となりました。

アウトソーシング事業は、売上・利益ともにはほぼ前年同期並みで推移しています。その結果、売上高は1,324,823千円（前年同四半期3.7%増）、セグメント利益は253,997千円（前年同四半期2.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より229,624千円増加し、3,082,990千円となりました。これは主に、前連結会計年度末より、現金及び預金が227,155千円増加したこと、ソフトウェア・ソフトウェア仮勘定などの無形固定資産が46,820千円増加したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末より71,471千円増加し、1,777,873千円となりました。これは主に、長期、短期含む借入金が増加した98,000千円増加したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益185,213千円を計上したこと等により、前連結会計年度末より158,153千円増加し1,305,117千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末と比べ227,154千円増加し、四半期末残高は519,728千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は、214,283千円(前年同期は33,654千円の収入)であります。これは主に、税金等調整前四半期純利益が257,898千円、法人税等の支払額が96,204千円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、97,612千円(前年同期は13,966千円の支出)であります。これは主に、有形固定資産の取得による支出14,779千円、無形固定資産の取得による支出82,356千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得た資金は、110,484千円(前年同期は181,294千円の支出)であります。これは主に、短期借入金の増加額130,000千円、長期借入金の返済による支出32,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年8月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、依然として新型コロナウイルス感染症の収束時期は不明なもの2023年3月期中は影響が継続する想定のもと、現時点で入手可能な情報や予測に基づき算定をしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	292,573	519,728
受取手形、売掛金及び契約資産	1,116,707	1,083,564
仕掛品	4,648	8,502
前払費用	89,626	100,464
その他	32,456	61,010
貸倒引当金	△20,631	△20,987
流動資産合計	1,515,381	1,752,282
固定資産		
有形固定資産	99,144	104,720
無形固定資産		
ソフトウェア	91,898	106,592
ソフトウェア仮勘定	30,579	62,705
その他	3,820	3,820
無形固定資産合計	126,298	173,118
投資その他の資産		
投資有価証券	853,061	778,025
その他	259,480	274,843
投資その他の資産合計	1,112,541	1,052,869
固定資産合計	1,337,984	1,330,708
資産合計	2,853,366	3,082,990
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	116,352	161,248
短期借入金	180,000	310,000
1年内返済予定の長期借入金	53,500	36,500
未払金	224,035	195,768
未払費用	55,730	52,764
リース債務	1,807	1,807
未払法人税等	92,239	75,509
未払消費税等	98,242	83,823
未払事業所税	7,136	4,629
前受金	134,186	156,774
預り金	52,628	68,558
賞与引当金	199,609	170,667
その他	63	-
流動負債合計	1,215,531	1,318,054
固定負債		
長期借入金	415,000	400,000
その他	75,870	59,818
固定負債合計	490,870	459,818
負債合計	1,706,402	1,777,873

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,555	610,471
資本剰余金	307,109	314,025
利益剰余金	65,525	250,712
自己株式	△49,722	△49,722
株主資本合計	926,469	1,125,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209,565	165,606
その他の包括利益累計額合計	209,565	165,606
新株予約権	10,929	14,023
純資産合計	1,146,964	1,305,117
負債純資産合計	2,853,366	3,082,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,999,459	3,242,676
売上原価	2,286,482	2,390,757
売上総利益	712,976	851,918
販売費及び一般管理費	540,239	600,208
営業利益又は営業損失(△)	172,737	251,710
営業外収益		
受取利息及び配当金	78	8,457
助成金収入	749	-
投資事業組合運用益	30,978	1,534
その他	686	161
営業外収益合計	32,492	10,153
営業外費用		
支払利息	3,056	2,962
支払手数料	1,442	450
その他	373	216
営業外費用合計	4,872	3,629
経常利益又は経常損失(△)	200,356	258,234
特別損失		
固定資産売却損	-	335
特別損失合計	-	335
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	200,356	257,898
法人税、住民税及び事業税	52,276	72,543
法人税等調整額	-	141
法人税等合計	52,276	72,685
四半期純利益又は四半期純損失(△)	148,080	185,213
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	148,080	185,213

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	148,080	185,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	212,849	△43,958
その他の包括利益合計	212,849	△43,958
四半期包括利益	360,929	141,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360,929	141,255
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	200,356	257,898
減価償却費	40,606	47,399
株式報酬費用	3,160	2,853
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,057	△28,941
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△24,472	—
受取利息及び受取配当金	△78	△8,457
投資事業組合運用損益(△は益)	△30,978	△1,534
支払利息	3,056	2,962
為替差損益(△は益)	357	216
売上債権の増減額(△は増加)	△38,984	33,143
未収入金の増減額(△は増加)	582	△17,099
棚卸資産の増減額(△は増加)	16,250	△3,853
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,555	44,896
未払金の増減額(△は減少)	△62,531	△28,266
未払消費税等の増減額(△は減少)	△40,075	△14,418
前受金の増減額(△は減少)	141,932	22,588
その他	△1,713	△3,944
小計	150,854	305,442
利息及び配当金の受取額	78	8,457
利息の支払額	△3,056	△2,962
手数料の支払額	△1,442	△450
法人税等の支払額	△119,218	△96,204
法人税等の還付額	6,439	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,654	214,283
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,420	△14,779
無形固定資産の取得による支出	△17,647	△82,356
投資有価証券の取得による支出	△308	△310
投資事業組合からの分配による収入	18,184	—
敷金及び保証金の回収による収入	12,893	—
敷金及び保証金の差入による支出	△3,519	△17
保険積立金の積立による支出	△149	△149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,966	△97,612
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	130,000
長期借入金の返済による支出	△133,987	△32,000
割賦債務の返済による支出	△683	△683
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△903	△903
株式の発行による収入	1,040	13,832
新株予約権の発行による収入	3,240	240
財務活動によるキャッシュ・フロー	△181,294	110,484
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△161,606	227,154
現金及び現金同等物の期首残高	447,570	292,573
現金及び現金同等物の四半期末残高	285,963	519,728

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来受注制作のソフトウェア開発契約については進捗部分について成果の確実性が見込まれるものについて工事進行基準を、その他のものについては完成基準を適用しておりましたが、少額または短期のものを除き、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。なお、履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、履行義務の結果を合理的に測定できる場合は、見積総原価に対する実際原価の割合(インプット法)で算出しています。少額かつ短期の開発契約については完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は45,595千円増加し、売上原価は26,960千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ18,634千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は4,151千円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」及び「開発事業未収入金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,722,968	1,276,491	2,999,459	2,999,459
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,722,968	1,276,491	2,999,459	2,999,459
セグメント利益	308,021	248,819	556,841	556,841

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	556,841
全社費用(注)	△384,104
四半期連結損益計算書の営業利益	172,737

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,917,853	1,324,823	3,242,676	3,242,676
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,917,853	1,324,823	3,242,676	3,242,676
セグメント利益	379,382	253,997	633,379	633,379

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	633,379
全社費用(注)	△381,669
四半期連結損益計算書の営業利益	251,710

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。